

日本技術士会長野県支部東信ブロック CPD 研修会 報告

1. 日時：令和 7 年 2 月 8 日（土） 13 時 00 分～15 時 00 分
2. 場所：さかきテクノセンター （長野県更科郡坂城町大字南条 4861-35）
3. 主催：公益社団法人 日本技術士会長野県支部
4. 研修内容
演題：電動建機の世界の動向・電池式ミニショベルの紹介
講師：(株)竹内製作所 開発部 条内 健吾、林 洋平
5. 参加者：19 名（会員 13 名、協賛団体 2 名、一般 2 名、講師 2 名）
6. 研修風景



< 講演 >



< 実演 >

7. 研修概要等

講演前日になり、体調不良により講師交代となり、ご迷惑をお掛けいたしました。

研修は、竹内製作所で 10 年以上前から開発に取り組んできた電池式ミニショベルについての講演、実機のデモと試乗を行いました。

「電動建機の世界の動向」では、世界各国の規制の動向や電動機などの普及実態について、展示会への各社の出展を通して説明いたしました。今後の環境対応について、いくつかの選択肢が考えられそうです。

また、「電池式ミニショベルの紹介」では、電池式ミニショベルには、排ガスがない、静かであるというメリットがある一方で、機械が高価格で、稼働時間の制約や充電時間が長いというデメリットがあること、開発の課題とそれへの取り組みなどについて発表いたしました。

全体を通して、多くの方から質問があがり関心を持っていただくことができたことと確信しております。脱炭素化や労働不足などの対策としての建機の電動化、ICT 化について、知っていただくよい機会となったと思います。